

## 総選挙で政治革新を

### 会員みなさん

国会解散・総選挙が「秒読み」段階になりました。総選挙は、私たちの要求を実現し、政治革新を勝ち取る絶好のチャンスです。大いに奮闘を呼びかけます。

**こんな社会、こんな政治でいいのでしょうか。**

後期高齢者医療制度は、「長生きは社会のお荷物」とばかり、高齢者にあらたな保険料負担と医療差別をもたらします。最低賃金は名ばかりで、ワーキングプア「働く貧困層」を大量につくりだし、人間をモノ扱いにする働かせ方が横行しています。「下着も満足に買えない」「風呂は週に一回しか行けない」「親戚のお葬式にもいけない」生活保護費の切り下げ、国民健康保険料・税が高すぎて払えず、保険証がとりあげられる世帯が激増しています。米価はどんどん引き下げられて農業をつぶし、「汚染米」まで流通し、「食の安全」が脅かされています。漁師が燃油の値上げで「休漁」を強いられるなか、インド洋でのアメリカ艦隊へは無償給油をつづけ、米軍基地の移転費へは多額の資金提供。

**なぜ、こんなことになるのでしょうか。**

自民・公明政権は、「国際競争力」の名目で、大企業には税金をまけてやる、労働者を低賃金・「使い捨て」で働かせるしくみをつくるなど大企業中心とアメリカからいわれたら、すべて「YES」と憲法9条までないがしろにする異常なアメリカいいなりの政治をすすめています。

民主党は、早期解散とひきかけに国会で十分な議論もしないまま、政府の提案に賛成する態度で、自民・公明政権を助けています。

**会員みなさん、一人ひとりの目でじっくり政治をみてみましょう。**

私たち・生活と健康を守る会は、国民とともに国民を苦しめる制度改悪、食の安全、平和を脅かす動きには機敏に立ちあがり、くらしを守るために運動をすすめています。国民を苦しめるのはだれか、どの党か。政治を変え「要求」を実現できるのはだれか、どの党か。しっかりと考え行動しましょう。

主権者は国民一人ひとりです。政治を動かす大きな波をひろげ、総選挙をたたかきましょう。

2008年10月19日

徳島県生活と健康を守る会連合会第42回定期大会